

研究構想シート	学校名	松江市立生馬小学校
	氏名	矢田 栄子
A 研究主題 一人一人の考えを大切に、学び合う子どもの育成～自分の考えをもち、意見を出し合い、聴き合って、みんなで作り上げる授業づくり～		
B 研究の目的 算数科を中心に、個別最適な学び（自分の考えをもって学習する）と、協働的な学び（考えたことを伝え合い、考えを深め合う）を一体的に育む方法を研究する。		
C 子どもの実態 （強み） ・素直に課題に取り組む。 ・テストやスキルへの取り組みが意欲的。 ・わからないことを「わからない」と言える子が多い。 ・ノートをわかりやすく書こうとする子が多い。 （弱み） ・理由を言えない子が多い。 ・発言する子が固定化している。 ・言葉で表現する力が弱い。 ・生活の場での生かし方がわからない子が多い。 ・間違いを恐れて発言できない子、自信のない子がいる。	E 手立て・内容（研究仮説） 仮説1 ①児童が自ら考えたいくなるような課題を設定する。 ②一人一人が表現したいくなるような発問を工夫する。 ③自分で考える場（時間）を設定する。 ↓ 自分の考えをもち、表現しようとする子どもが育つであろう。 仮説2 ①互いの考えを出し合い、話し合う場を設定する。 ②話し合う視点を明確にした発問や問いを工夫する。 ③話し合うスキルを身につけさせる。 ↓ 考えたことを伝え合い、深め合うことのできる子どもが育つであろう。	D めざす子どもの姿 ○自分の考えをもち、表現しようとする子ども ○考えたことを伝え合い、聴き合って、互いの考えを深め合うことのできる子ども
	F 検証方法 ・児童の意識の変容（アンケート） ・児童の振り返り ・児童の観察と評価 ・教師のアンケート	
	G 研究計画 算数科を中心とした実践、3年次のまとめとして、これまで2年間の実践をもとに、一人一研究授業を行いその都度協議をもって、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。	